

原ニ溪 はらにき 實業家、美術品の蒐集家。渡應四年八月、千二百美濃國生れ、昭和十四年八月十六日歿（二六六―一九三九）。舊姓青木、本名富太郎。東京專門學校卒。明治三十五年豊岡原家の婿養子となり、その業を受け、本邦有数の巨商となる。一方古美術品の蒐集家、再興日本美術院諸畫家の後援者としても知られた他、自らも書畫を能くし、おひ茶人としての評價も高かった。

文獻、矢代幸雄著『藝術のソートロシ』（昭和二十二年十月五日新潮社）、森本栄著『原富太郎』（昭和二十九年十月二十日時事通信社）、「二業一人伝」等。

